

事業の背景・目的

雲南市で自然繁殖しているコウノトリや出雲市で一般公開が開始されたトキは、ともに田んぼを採食地にして広範囲に移動する生態ピラミッドの頂点に立つ高次消費者として、生態系の健全さ、生物多様性の指標となります。そこで、コウノトリやトキと共に生きる自然豊かで魅力あふれる持続可能な地域の実現に向けて、島根県・出雲市・雲南市が事務局となる本協議会が中心となり、多様な主体や地域の参画及び広域の連携・協働、継続的な活動の推進を図りつつ、出雲・雲南地域生物多様性連携保全活動計画を作成し、環境づくりや普及啓発活動等により効果的・効率的に取り組むことで、生態系ネットワークの形成や地域振興、取り組みへの認知度および共感を高めることを目指します。

事業の内容

令和元年度

コウノトリ・トキの生息環境の現状把握と、地域住民の認知度を高めるための普及啓発、ビオトープの試験整備、目標設定や各主体の役割など、継続的な取り組みを行うための計画の骨子についての検討・作成を行う。

事業① 生態系ネットワーク形成検討調査事業

- ・採食環境の分布状況把握及び生物調査、採食環境整備検討

事業② 普及啓発及び地域振興方策検討事業

- ・学習会、イベント、広報資料作成による普及啓発

事業③ 「出雲・雲南地域連携保全活動計画」策定事業

- ・調査データを元にした活動計画の骨子の作成と検討

令和2年度

コウノトリ・トキの生息環境の把握と分析、地域住民の参画を図るための普及啓発、ビオトープの整備・維持管理手法の検討、体験型交流等地域振興策の検討、各主体が連携して継続的な取り組みを行うための計画を策定する。

事業① 生態系ネットワーク形成検討調査事業

- ・前年度を踏まえた生息環境条件調査、採食環境の管理手法検討

事業② 普及啓発及び地域振興方策検討事業

- ・前年度を踏まえた普及啓発及び、体験型交流等地域振興方策の検討

事業③ 「出雲・雲南地域連携保全活動計画」策定事業

- ・2年間の調査データや協議会での検討内容を元にした活動計画の検討

得られた成果

地域住民や団体との連携により実施した生きもの調査やビオトープの整備・維持管理及びそれらの学習会などを通じて、コウノトリやトキと共生するまちづくりや生物多様性保全の重要性が周知され、市民意識の向上につながった。また、ビオトープの整備・維持管理手法や地域振興に関する意見交換会を実施することにより、自治体やNPO、関連団体との連携や取り組みの活発化を図ることができ、当該地域等の自然環境に関わる専門機関であるホシザキグリーン財団や島根県技術士会など、協力団体の増加として成果が出ている。

令和2年度に検討した「出雲・雲南地域生物多様性連携保全活動計画」は、「コウノトリやトキと共に生きる環境づくり」を中心に、「自然環境の把握」「豊かな自然環境や活動の情報発信」「環境づくりを通じた交流促進」の3つをあわせて取り組むための具体的な内容や体制などについて明確化することにより、協議会が中心となり地域住民や団体など多様な主体の連携による生物多様性保全活動のさらなる実施・展開が可能になると考えられる。